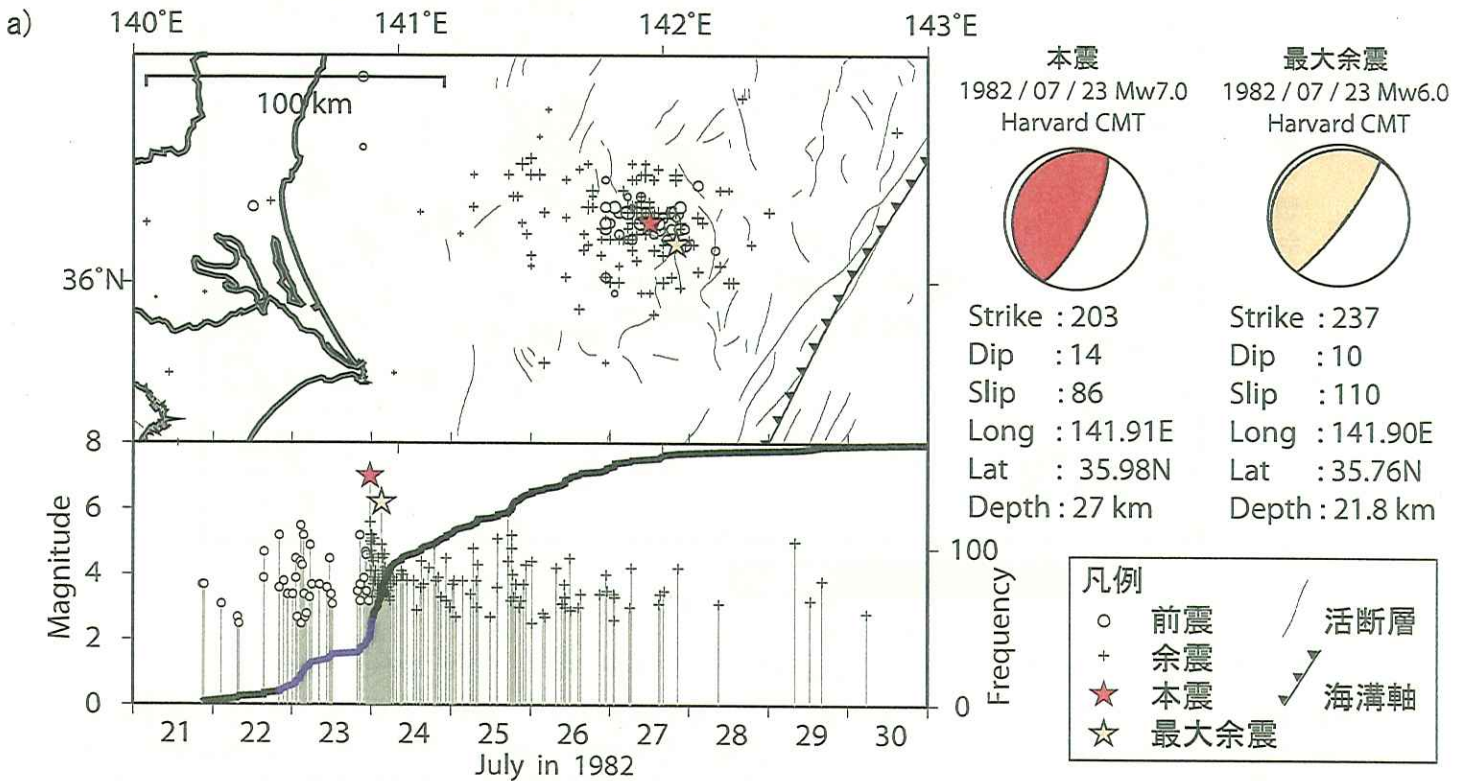


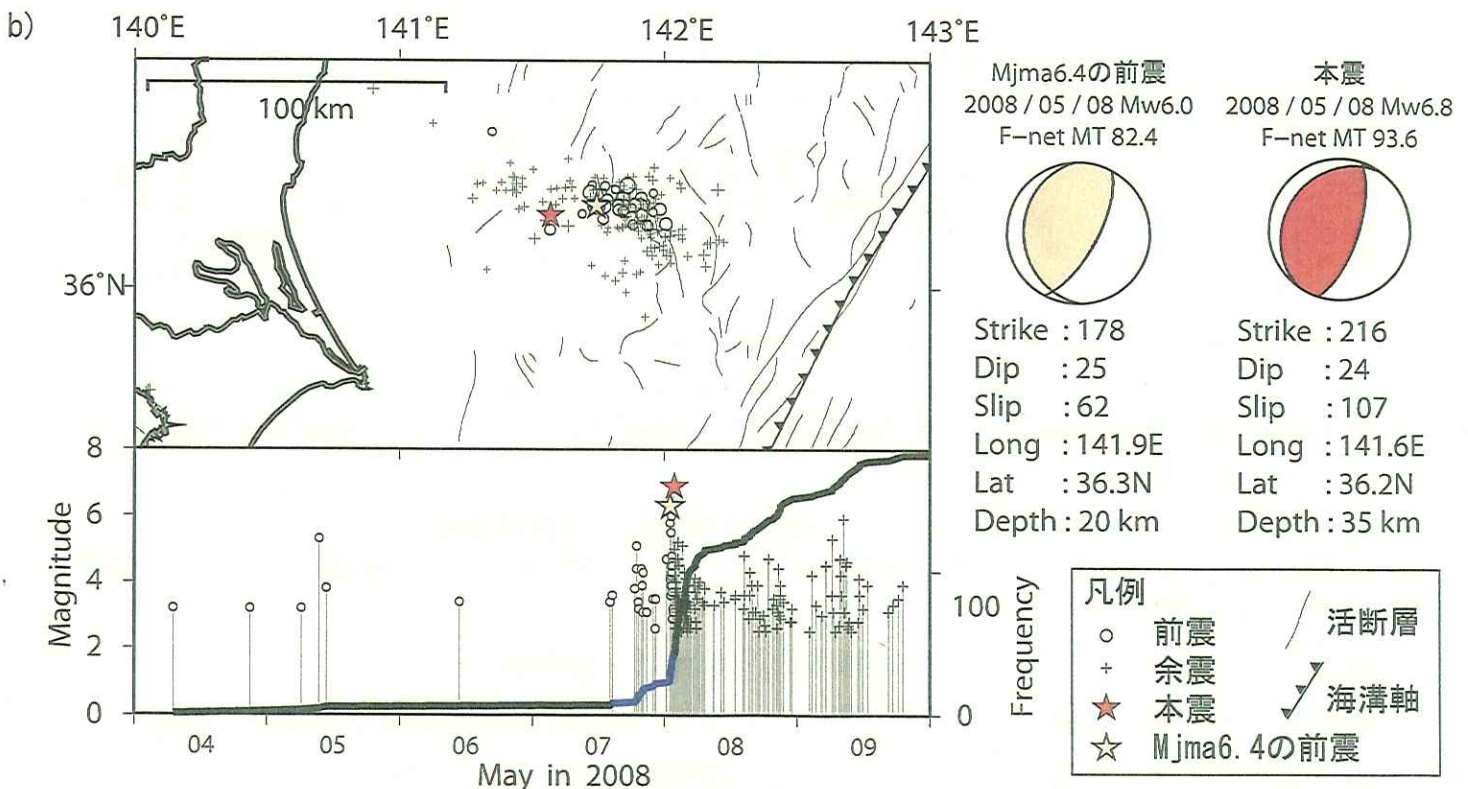
1982年と2008年に発生した茨城県沖の地震活動

2008年5月8日にMjma7.0の地震が茨城県沖で発生した。茨城県沖では20から30年おきにM7程度の地震が繰り返し発生しており、1982年7月にも今回と同様なメカニズム解を持つMjma7.0の地震が発生している。

- ・茨城県沖で発生するM7程度の地震は、発生前後数時間にM6クラスの地震を伴って発生している。
- ・前震活動は活発であり、数時間程度の活動空白時間がある（積算分布の青線部分）。
- ・M6クラスの地震は、M7程度の地震より海溝軸側に存在している。



1982年茨城県沖の地震。震源情報は気象庁のカタログデータを使用。メカニズム解は、HarvardのCMT解を参照した。本震後約3時間30分でMjma6.2の地震が発生している。



2008年茨城県沖の地震。地震は防災科研Hi-netデータを使用。メカニズム解は、F-netのMT解を参照した。本震前1時間以内にMjma6.4と6.2の地震が発生している。